議 事 録

会 議 名	令和7年度 第2回 学校関係者評価委員会		専門学校東京工科自動車大学校
開催日時	令和7年11月13日（木） 18:00 ～ 19:30		
会 場	専門学校東京工科自動車大学校 123教室		
参 加 者	委員 （敬称略）	6名	阿部 豪気／浅古 純一／荻野 嘉彦／嶋田 章二 舟橋 正晴／高村 謙 （欠席:織田 京子）
	事務局	3名	佐藤 康夫／園田 幸祐／荻野 洸介
会 議 録	1. 校長挨拶 開催に向けて佐藤校長より挨拶が行われ、職業実践専門課程についての概要と学校関係者評価委員会開催目的について説明があった。 2. 委員会成立の確認 事務局より学生保護者の委員であった鈴木三樹委員が諸事情により委員を辞退され、後任として学生保護者の織田京子委員が選出された旨を説明した。 また、委員7名中6名出席、1名の欠席（委任状有り）で、委員の変更と本委員会の成立についての承認を得た。 3. 議長及び書記選出 本委員会の成立を受け、事務局より阿部豪気委員を議長として、舟橋正晴委員を書記として推薦し承認が得られた。 4. 議事 ①前回議事録確認（園田） 園田副校長より前回議事に関して説明がされ、各委員から承認を受けた。 ②令和7年度の取り組みに関する進捗状況報告（園田） 園田副校長より以下の報告があった。 ・令和7年度 整備士資格の取得目標報告 ・令和7年度 就職内定状況報告 ・令和7年度 進級・卒業、出席率の状況報告 ・令和7年度 募集計画の状況報告 ・令和7年度 企業連携実習の状況報告 ・令和7年度 FD・SD（教職員の能力開発・研修）の実施報告 これらについて各委員から承認を受けた。 ③令和7年度 報告事項（佐藤） 佐藤校長より以下の報告があった。 １．国土交通省資格制度改正、教科書改訂について ２．文部科学省 学校教育法の一部改正について		

	３．４期制への移行および学校教育法等の改正に伴う学則変更に関して ４．学則変更（案）概要の説明 ここまでの報告に関して委員より下記質問があった。 Q．教科書が変わって先生方は混乱しているか？ A．混乱がないと言ったら嘘になるが、教科書が統合されて理解を促す説明部分の分量が減っているので、必要な内容を追加しながら教員が工夫を凝らして実施している。過去の資料があるのでそれを活用して実施している。 Q．留学生の国籍の変化はあるか？ A．以前は韓国、中国だったが今は少ない、ベトナムも数的には減少傾向、今はミャンマー、ネパール、バングラデシュ、スリランカなどが多くなっている。 ‣楽しそうに連れだって歩いていていいが、少し広がって歩いているのが気になる。 ‣教員から指導する。 Q．教科書が変わって、国家試験の対策というのが手探り状態になってしまう？ A．そぎ落とされている部分があるので、これまでの内容を変えずにその部分を補いながら網羅出来るようにしている。これまでの試験の内容と大きく変わらないとは言われている。 ‣合格率は学校の看板にもなるので合格率１００％を頑張ってほしい。 ‣改正後の試験では二輪の構造・機能や法規も入ってくるので、少ない問題数ではあるとは思うが対策が必要。これまでも二輪の授業を実施してきているので大きな問題はないと考えている。 ④意見交換 （浅古委員）今では外国人の方も法律が緩和され日本人と結婚できるようになり日本人と結婚する人が増えているらしい。知らないところで世の仕組みも大きく変わってきている。日本を愛して日本のために働きたいという人たちにはどんどん帰化して働いてもらいたい。 （荻野委員）留学生もみんな明るくて楽しそう。自社（タクシー会社）でも外国籍の方がいた時、ローンが組めないということがあって、会社名義で対応したことがあった。今は特に大きな問題は起きていない。整備部門では高校を出て働きながら資格を取ってもらったりしている。 （舟橋委員）在留資格の更新というのは大きな問題。整備主任者を持っていても１年だったりする。福利厚生の点で車のローンや家のローンがお得に利用できるというのを説明会でしているが、外国籍の方だとそれが利用出来ないという問題が起きている。会社が認めた職位というのに就いていないと更新期間を延ばすことが出来ない。エンジニアの中途採用で、現職で整備主任者に選任されているという人が来ても、入社後すぐには整備主任者に選任出来ないので在留資格更新になると更新期間が 1 年になってしまうことを説明すると、ほぼ確実に辞退されてしまう。在留資格関係で働きかけをしていけるといいと思う。 （嶋田委員）会社入った後のビザの更新、最初は 1 年、3 年、5 年と延びるはずが、今は厳しくなってきていて、整備主任者をとらないと更新期間が延びなくなっている。それによって１年、1年と更新していくとローンが組めない といった問題がある。入管の担当によってもばらつきがあって、整備主任者を取れていても延びなかったりする。学校側からも更新期間のばらつきに関して入管に働きかけをしてもらえると助かる。グループ会社の審査であってもローンが通らなかったりするので、車を買いたくても

	買えないという現状がある。 （高村委員）留学生が半数ということで、社会に出る外国籍も増えるが、以前、在留資格の手続きが 4 月 1 日に間に合わなかったことがあった。在留資格が変更されるまではアルバイトという形で対応したが、受け入れる側、学校側それぞれ注意が必要と感じた。整備士試験時にまだ更新が完了していないという状態はメンタル面でも大変だと思う。 ⇒今年は特に企業側も早く動いてくれており、学校としても早め早めに動いている。技人国ビザの更新は受け入れる企業側と学生との連携も大事になってくるが、我々の学校を 2 年、4 年で卒業して後援会企業などに入社する場合はビザ切り替えについては、ほとんど問題にならない。当校は適正校でもあるので、必要な書類も少なく済んでいる。その適正校を維持するために留学生の管理に非常に気を付けている。 （阿部委員）前期に授業を 6 クラス担当させてもらった。外国籍の学生達は非常に優秀だったし真面目に取り組んでくれていた。ただ、やはり企業として日本人を一定数受入れる必要も感じているので、学校にも日本人の入学が増えていくように頑張ってもらいたい。企業としても最大限協力をさせてもらいたいと考えている。 ⇒高校とも連携して日本人の受け入れも増加傾向にある。園田副校長もいろいろな学校に行って実習や授業をしてアピールしており、そこでは企業様方にも多大な貢献をいただいている。 5. その他 ①2025 年度自己点検評価報告書についてのお知らせ 今年度の自己評価報告のスケジュールについて園田副校長より説明があった。 これにて令和7年度第2回学校関係者評価委員会が閉会された。 以上

